



EP.

6

世界にリベンジャーズ

与国 秀真

YOKUNI Hotsuma

世界では、
預言者アブラハムから
始まった3つの宗教、



つまり、
ユダヤ教、キリスト教、イスラム教
によって宗教紛争が続いているが、

和を重んじ、
秩序と尊崇の心の大切にする
日本人は、

日本民族的宗教の神道、
中国で始まった儒教、
インドで興った仏教、
これら3つの宗教を融和させてきた。





日本人の中でも、

特に若い人たちの感覚からすれば、

オッサン、
悪魔教徒なんて
本当にいるの？

という感覚になるだろう。



たとえば、

「世界経済の中心はどこか？」

そうたずねれば、

おそらく世界中の多くの人が、

「ニューヨークのウォールストリート」

と答えるだろう。



そしてそのウォール街で、
最も強い力を持つのは、

まぎれもなく
『ユダヤマネー』だ。



しかしなぜ
ウォール街のシンボルとして

牛の像が置かれているのだろうか？

※チャージング・ブル

かつてイスラエルの民は、
金で牛の像をつくり、
偶像崇拜を行ったことにより、

三千人もの同胞が、
隣人によって殺されたことは
すでに前回で述べたが、



なぜ、わざわざユダヤ教徒が、
忌み嫌うはずの牛の像を、

ユダヤ人が強い力を持つ、
ウォール街のシンボルにする
必要があるのだろうか？





すでに述べたように、

悪魔教徒たちは、

我々のことを完全に、

「家畜」と見ているが、

しかし実は彼らもまた、

まるで「獣」のごとく、

マーキングが好きなのだ。



動物が自分の強さを

誇示するがごとく、

彼らの醜いマーキングは、

実はいたるところにある



たどれば、
悪魔崇拜の物的証拠と言えば、
『ボヘミアン・グループ』
があげられる。



ジャーナリストの
アレックス・ジョーンズは、
2000年7月15日、
隠しカメラを持って、
この『ボヘミア・グループ』に
潜入することに成功し、
動画をネットにあげた。

『ポヘミアン・ダローム』とは、
カリフォルニア州サンフランシスコの
モンテリオの広大な土地の中で、

各国政府の要人、

企業など様々な組織のトップ、

権力を持った2000人のエリートたちが、

行っている悪魔儀式のことである。

彼らは高さ12メートルもある
巨大なフクロウを崇拜している。

ロシアの(実質)国営メディア
『ロシア・トゥデイ(RT)』も、
2012年7月13日に、

この『ホムミアン・グローブ』を
報道している。



だから、

この世界の超エリートたちの
オカルト的乱交パーティーは、

けっして都市伝説ではなく、
現実に毎年7月に行われている。





この漫画で度々、紹介してきた
👉コチラの動画『涙の地球』の
1時間42分あたりで、
『ボヘミアン・グロース』の映像を、
公開している。



しかしモロクは牛頭人身なのに、
なぜ彼らはマクローウを祀るのか？

チャイコフスキーが作曲した
バレエ音楽『白鳥の湖』は
世界的に有名だが、



その中にはマクローウの姿をした
悪魔『ロットバルド』が登場する。

実はキリスト教社会の中では、



中世の頃から
夜行性のフクロウは、
悪魔の象徴だった。

そして実は、

ホワイトハウスを

上空から見下ろすと



フクロウが
描かれている。



アメリカ国民のほとんどが、
気づいていないが、
実は1ドル札にも、
フクロウが描かれている。



現在の国会議事堂は、戦前の1936年に建設されたのだが、拡張されて現在の姿へと変えたのは、敗戦後の1960年代であり、

その拡張工事のおかげが、いつの間にか上空から見ると、**フクロウ**に見える。



日本経済を動かす『経団連』の会館も**フクロウ**が見下ろしているし、



日本のお金持ちたちが住む『六本木ヒルズ』が**フクロウ**なもの、やはり偶然ではないだろう。

池袋の「サンシャイン60」が
建つ場所は、

東条英機をはじめとする
先の戦犯が収容されていた
巣鴨拘置所の跡地である。

「サンシャイン」とは
「太陽の輝き」という意味なのだが、
この建物は、

「神」と「悪魔」、
果たしてどちらのことを、

「光」と考えているのだろうか？

ちなみに悪魔は
「6」という数字を好む。

第二次世界大戦の敗戦後、
東京タワーの麓に、



『フリーメイソン』の
グラン・ドロワジが設立されたが、

なごらく日本の電波塔であった、
東京タワーのテツペンには、



まるでイルミナティのシンボル、
プロビデンスの目を現すかのように、
密かに野球ボールが置かれていた。

彼らのマーキングと言えば、
1994年に発売された
『イルミナティカード』
が有名だ。



これは表向きには、
ただのカードゲームだが、
その内容は、
悪魔の「マーキング」とも、
「計画目標」とも取れる。

たとえばこのカードは、
日本を現しているカードだが、
明らかに日本が
縮小されていることが分かる。



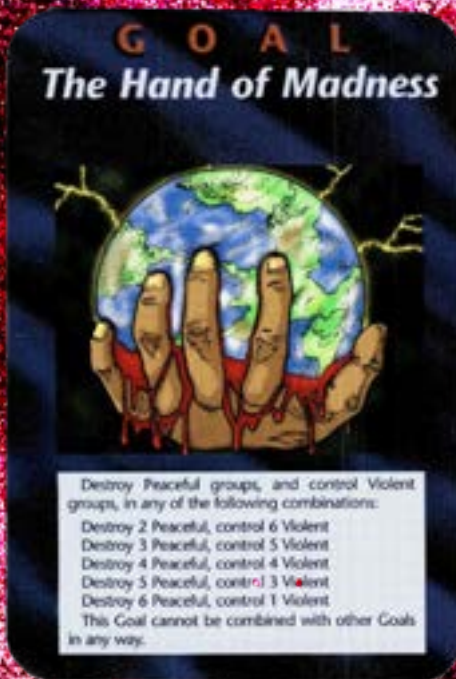
悪魔的勢力は、
こんな小さな日本を
望んでいるわけだ。

また、ダイアナ妃の死を
宣告しているかのようであり、
トランプの出現が、
予定されていたかのようである。





これは。ペンタゴンと、
世界貿易センターの絵だが、
明らかに911テロを
連想させる。



どうやらヤツラは、
こういった悪趣味な遊びが、
好きなようだ。

我々を誘いたいのだろう。
彼らの目的に
大衆誘導し、
情報封鎖し、
家畜とみなす我々に



ちなみに、
「ヘルメスの達人」
と記された、
スペシャルゴールもある。



すでに前回のエピソードで、

「GAFAM」が、

悪魔勢力の手の中に、

あることを述べたが、

結局、

「X（旧Twitter）」も同じだ。

2025年7月、

日本国内では、

政権批判するアカウントが

凍結された。



実は日本の「X」は、

広告代理店「電通」と、

深い協力関係にある。



そして「日本の報道を牛耳る

『電通』は、

残念ながら『イルミナティ』の

手の中にある」と、

確実にそう言えるだろう。

それはつまり、

私たちが日常的に、

洗脳されていることを

意味している。



その物的証拠は、

「MKウルトラ」

にある。

「MKウルトラ計画」とは、

CIAが極秘に実施していた

非人道的な洗脳実験のコードネームで、

1950年代初頭から、

被験者に内緒で行われてきた。

1975年に機密文書が流出し、
アメリカ連邦議会で公開され、
世間を騒がせた。


こんな「**悪魔的洗脳実験**」を、
極秘にやっていることだけ見ても、
ホワイトハウスが、
上空から見るとフクロウなのが、
簡単に理解できてしまう。

この「**洗脳実験**」で培った
サブリミナル効果などによる、
洗脳の技術が、

実はハリウッドや
日本の芸能界によって、
大衆向けに、日常的に、
行われているのである。

「そんな信じられない！」
と思われる方は、



どうか  コチラの動画を、
ご覧になって頂きたい。

私たちは日常的に
洗脳を受けている。

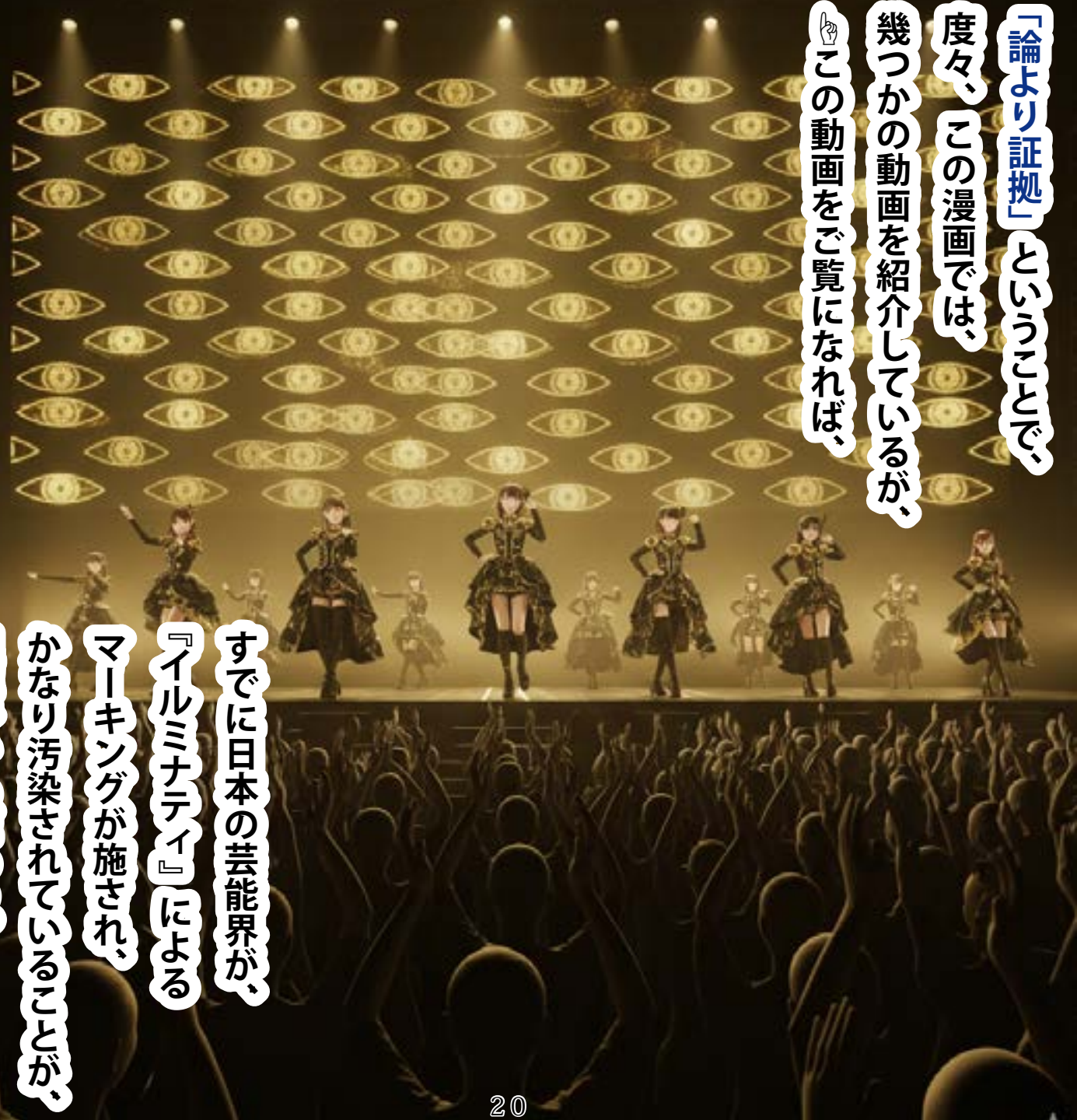


「論より証拠」ということで、

度々、この漫画では、

幾つかの動画を紹介しているが、

 この動画をご覧になれば、



すでに日本の芸能界が、

『イルミナティ』による

マーキングが施され、

かなり汚染されていることが、

理解できるだろう。



そして日本の芸能界が、『イルミナティ』の侵略をかなり許していることが分ければ、



日本の本当の姿も、同時に見えてくるだろう。



そしてマスコミを牛耳るのが、

『電通』なのだから、

エピソード8で詳しく説明するが、

『電通』と深い協力関係にある、

『X』にもイルミナティが、

侵略していることが理解できる。



つまりネットも道具としては、

ある程度、使えるが、

しかし世の中を変えていくにも、

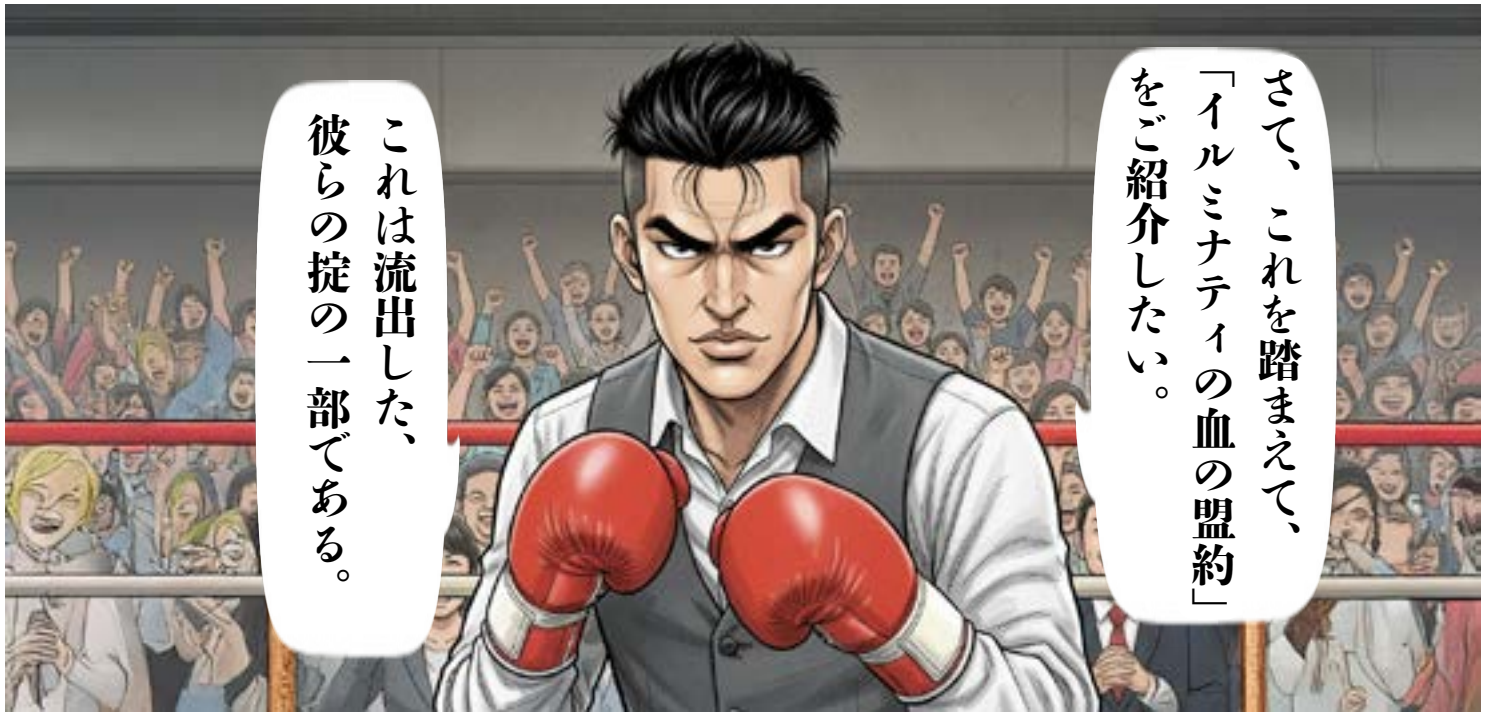
やっぱり人と人、

「フェイス・トゥ・フェイス」、

「人の温もり」、

これこそが大切である、

ということだ。



これは流出した、
彼らの掟の一部である。

さて、これを踏まえて、
「イルミナティの血の盟約」
をご紹介したい。

動画『イルミナティ 血の盟約』



🔗 全編を見たい方



錯覚はあまりに巨大、
膨大であるため、
奴らの知覚範囲を逃れ出る。




真実が見える者たちは、
他者から「正気」とは
思われない。




我々は互いの
繋がりを隠すために、
別々に離れた前線を作る。




錯覚を存続させるために、
あえて我々の繋がりをなど
無いように振舞うのだ。【中略】



我々は常に共に動き、
血によって結ばれ続け、
秘密を漏らした者には
死が訪れる。



我々は奴らを従順で脆弱にし、
我々の力に屈服させる。【中略】



奴らの関心を
カネと物質に集中させる。

奴らが内なる自我と
結びつかないように、



我々は「恐怖」を武器として使うだろう。



我々は奴らの政府を作り、反対勢力も設ける。その両方を所有するのだ。



常に目的を隠しつつ、計画を実行する。



奴ら是我々のために労働し、
我々は奴らの労苦で繁栄する。



我々の一族は、
決して奴らと交わることはない。



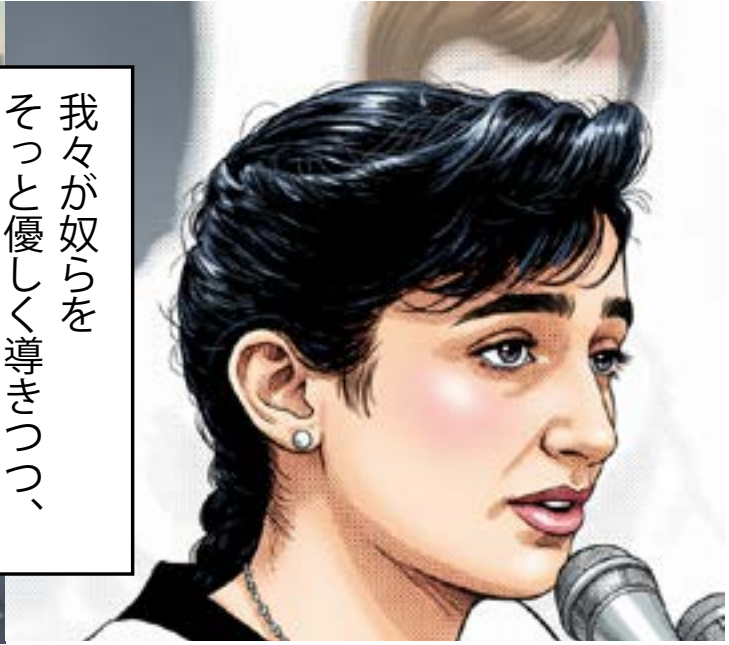
我々の血統は
常に純粹でなければならず、
それが掟なのだ。



我々の都合で、
奴らに殺し合いをさせよう。【中略】



我々が奴らを
そつと優しく導きつつ、
「自分で選んでいるのだ」
と奴らに思わせる。【中略】



どちらか都合のいい方法で
そいつを葬り去るだろう。【中略】



もしも優れた者が出現したら、
愚弄するか、死をもたらすか、



奴らは、
互いの殺し合いで手一杯だから、



奴らは己の血の風呂に浴し、
隣人を殺し続けるのだ。【中略】

我々が「これでよい」
とみなすまで、



もしも奴らが、
力を合わせれば


我々に打ち勝つことが
出来ると知ったら、
行動を起こすだろう。



だから我々がしてきたことを、
奴らは決して知ってはならない。【中略】




この盟約は血によって、
我々の血で封印されている。



我々、
天国から地上に降り来た者に
よって、この盟約は、

決して、絶対に、その存在を
知られてはならない。【中略】



そこから生まれる意識が、
我々に対する
創造主の激しい怒りを解き放ち、

我々がやって来た
どん底へと落とされ、
永遠のときの最後まで、
閉じ込められるであろうから。

残念ながら悪なる勢力は、
かなり狡猾で、緻密で、

その何よりも冷酷だ。



古代イランの
ゾロアスター教において、

善神アフラマズダと戦い続ける
暗黒の神アーリマズ、



神秘思想家で哲学者でもある
ルドルフ・シュタイナーは
20世紀初頭、



21世紀に入ると、
このアーリマンの影響が
強く地球に現れてくることを、
何度も予言的に述べていた。

そして六本木ヒルズの麓に、



「マママン」という蜘蛛のような
偶像がマーキングされており、



この「マママン」が、
世界中に建てられつつあるようだ。



奴らの狡猾で緻密で、
冷酷な地球侵略は進んでいる。



しかも奴らは、
我々日本人を、
最大の敵と見なして、
これまで、
多くの日本人を
殺してきた。

だからぜひ、
「日本人を守りたい」
と想うのならば、
騙されたと思って、
下の日本航空123便の
動画を見てもらいたい。



📺 おすすめ動画



漫画寄付金のお願

皆さまのお力が、この物語を次の章へと導きます。

作品を生み出すということは、時間と覚悟を注ぎ続ける営みです。

真実を描くための資料集め、制作環境——そのすべてを支える力が必要です。

皆さまのご支援が、物語の続きを創造する原動力となります。

政治の真実、武士道精神の目覚めを促す一步のため、ご支援賜れば幸いです。

ご寄付の使い道

本作品の制作における主な経費は以下の通りです。

- ・資料購入、漫画素材購入
- ・制作環境維持費
(ソフトウェア、
各種 AI サブスクリプション、
機材等)
- ・制作時間の確保
- ・その他、作品公開のための
諸経費



①クレジットカードでのご寄付

<https://secure.telecomcredit.co.jp/inetcredit/secure/manual-order.pl?clientip=74164>



②PayPal でのご寄付

<https://www.paypal.com/paypalme/bushidoyamato>



③銀行振り込みでのご寄付 下記口座へ、お振込みください。

●ゆうちょ

記号 00280

番号 105770

名前 シャ)ブシドウ

●ゆうちょ銀行

支店名 ゼロニキュウ
〇二九

口座番号 当座 0105770

口座名 シャ)ブシドウ

※ご寄付は任意です。100円から、お気持ちだけでも十分に励みになります。

※いただいたご支援は制作継続のため大切に活用させていただきます。

Amazon で販売中!



電子書籍 1.500 円



文庫本 880 円

その他にも オーディオブック
『武士道を行く』 →

